

大社高校学校だより

社高の風

令和2年

3月

第63号

祝

第12回卒業式が挙行されました

3月3日(火)午前10時から、大社高校第72回卒業証書授与式が本校体育館にて行われました。今年は、島根県教育委員会より新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、卒業式への参加を卒業生とその保護者及び教職員とする旨の通知があったため、出席者の少ない異例の式となりました。式の途中から暖かな日差しが差し込み始め、普通科210名、体育科36名の計246名の生徒たちは、柔らかな春光に包まれながら思い出の学び舎を巣立っていきました。

校長式辞に続き、在校生代表の和田真紀さんが送辞を、そして卒業生代表の郷原桃歌さんが3年間の高校生活に対する思いを込めて答辞を述べました。式は厳粛な中にも感動のある凜とした雰囲気が進み、卒業生の退場とともに閉じました。

これからはそれぞれが新しい道に進むことになりますが、高校3年間で経験が、これからの人生の大きな礎となるものと確信しています。卒業生の皆さんのご多幸と更なる活躍を期待しています。



古 居 晃 校長 式辞 (抜粋)

このような、縮小した形の式になりましたが、昨日は、在校生が一生懸命掃除や式場準備してくれました。在校生の姿はありませんが、先輩方への思いは、この式場の中にしっかりと詰まっています。そして、私達、大社高等学校の教職員はこういう状況だからこそ、皆さんの門出を最大限に祝福したいと思います。

皆さんは、この大社高校で3年間、学習活動、学校行事、生徒会活動、部活動など日々熱心に取り組み、多くの成果をあげてこられました。希望する進路の実現のために黙々と有朋館で自習したり、何度も何度も面接練習するなかで、時にはうまくいかず涙したりする姿には、かける言葉もなく、ただただ心から健闘を祈っていました。

学園祭をはじめとした学校行事では、3年生を中心に多くの議論を尽くし、下級生をリードしながら立派に成功に導いてくれました。また、部活動においても自ら厳しい練習に取り組むとともに、下級生にも配慮したチーム作りに励んでいました。皆さんのここに来るまでの努力に改めて敬意を表するとともに、たくましく成長した姿を見せてくれたことを、とてもうれしく思っています。

これから皆さんは、一人ひとり違った道を歩むことになります。卒業＝新たな人生へのスタートでもあります。皆さんを取り巻く環境・社会は目まぐるしく変動し、様々な課題が山積していますが、3年間で培ってきた「社高魂」で乗り越えてください。



在校生代表

わた

まき

和田 真紀さん 送辞 (抜粹)

先輩方は、私たち後輩の良き手本として私たちを引っ張ってくださいました。皆さんの背中を見ていると、私達も勇気が沸き、背中を押してもらったことがたくさんありました。これから進まれる場所では、楽しさも厳しさも今までの何倍もあると思います。平坦ではない道を進まねばならないこともあると思います。そんなとき、大社高校で過ごした3年間は、必ず先輩方の背中を押してくれることでしょう。

今回は在校生のいない式となりましたので、先輩方に直接感謝やお礼を伝えられずにいる後輩たちもいます。そんなみんなにかわって感謝申し上げます。

卒業生の皆様のご健康とお幸せをお祈りいたします。



卒業生代表

ごうはら

もか

郷原 桃歌さん 答辞 (抜粹)

この3年を振り返ってみると、長いようで本当に短い年月だったように感じられます。多くの月日とともに過ごしてきた友達が自分の進む未来に向かって歩み出しました。これから先もいろいろなことがあると思いますが、そんな日々をみんなと



共に過ごせないことをとても寂しく思っています。しかし、私が得た友人たちや、友人たちと過ごした日々の思い出は、この先失うことはありません。みんなと出会えて本当に良かったと心の底から感じています。卒業生の皆さんは、「なりたい自分」になるための一歩を踏み出す決心がついたのでしょうか。別々の道を進む中で、大社高校で得た経験がきっと活かされるはず。拙い足取りではありますが、今後も応援してくださいと喜びます。

進路指導部より

今年度の入試の特徴は、来年度入試制度変更に伴う安全志向、地元志向、情報系・国際系の志願者の増加、私立大学の定員厳格化にともなう難化、などがあげられます。そうした状況の中、本校はセンター試験 192 名の生徒が出願しました。これは昨年よりも 34 名少ない人数です。元々この学年の在籍人数が例年よりもちょうどその人数分程度少ないため、出願数は減少しましたが、出願者の割合は学年全体の約8割で、これは例年とほぼ同じ割合です。前期までの国公立大学の現役合格者は 47 名でした。そのうち推薦・AO入試による合格者が 25 名です。センター試験の難化もあって、センターの出願者そのものが減ったとは言え、厳しい結果となりました。

私立四年生大学の合格者は昨年よりもやや減少しました。定員の厳格化だけでなく、国公立大学の志望者の併願受験が増えたために、いわゆる難関私大だけでなく、中堅私大も難化し、私大の受験全体が厳しくなったことが要因としてあげられます。

公立短大、私立短大、高専、専門学校の合格者は昨年並、就職についてもほぼ例年並の状況でした。

来年度から実施される共通テストでは、これまで以上に深い思考力が問われるようになります。また大学によっては英語のリスニングの比率が上がります。英語外部検定の本格導入が見送られたとは言え、一部の大学では出願資格や加点の対象になる所もあります。また、これまで以上に課外活動の業績や記録などのいわゆる「エビデンス」が重視される時代になってきました。これからの受験を乗り切るためには、総合的な学力(基礎的知識の定着を基盤とし、それらの知識を組み合わせる力、思考力、判断力、他者と協働して課題解決に向かう力、表現力等)が要求されます。まずは日々の授業に真摯に、そして主体的に取り組み、確かな学力をつけて欲しいと思います。

新共通テストに関する情報は、引き続きお知らせしていきます。

(進路指導部 大屋和彦)

国立大学	22人
公立大学	25人
私立大学	224人
公立短大	8人
私立短大	18人
高専	37人
医療系専門学校	7人
(高専を除く)	
専門学校	20人
国公立大学校・短大校	3人
公務員	5人
民間就職	8人

令和元年度3年生進路状況 (3月11日現在 現役生合格者 (進学は延べ数、就職は実数))

1年生 「総合的な探究の時間」 への取り組み

1年生の「総合的な探究の時間」では、地域課題を知るという目的で、12月に出雲市や松江市の19の事業所やNPO法人から、のべ24人の講師の方に来校していただき、講演をしていただきました。生徒はその中から2つの分野の講演を聴き、出雲市や島根県の取り組みや課題について学ぶことができました。1月からは、聴いた講演によってグループを作り、①講演の内容を、聞いていない人にわかりやすく伝える、②根拠に基づいて考えを述べる、という目的で、それぞれの分野について、資料を探し、アイデアを出し合いながら学びを深めてきました。考えたことや調べたことは、1枚の模造紙にまとめ、発表する予定です。この学びを2年次につなげていきたいと思えます。(写真左2枚は講演会の様子。右2枚はポスター作成の様子。)



2年生 「総合的な学習の時間」 への取り組み

全体発表会が行われました！

I N
大社文化プレイス
うらら館

2月4日(火)の14:00から大社文化プレイスうらら館で、2年生「総合的な学習の時間」の全体発表会が開催されました。昨年末の校内予選を勝ち抜いた12チームがパワーポイントを使用して、堂々と発表を行いました。お世話になった事業所の方々、保護者のみなさま、あたたかく見守ってくださる地域の方々など、たくさんご来場していただきました。

ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

結果は次のとおりです。

最優秀賞 空き地空き家の再利用

優秀賞 知ってる？出雲の魅力 ～出雲大社だけじゃないけんね～
I LOVE 日御碕！ 増やせ観光客！・商店街を活発にする



▲最優秀班のメンバー

1年生 体育科スケート実習

1月15日(水)からの2日間、湖遊館にて1年生体育科スケート実習を行いました。初めてスケートをする生徒も多く、初日は転倒する回数も多かったですが、インストラクターの方々に基礎から丁寧に教わったことで、2日目は検定も含め良い滑走をすることが出来ました。3年次には更なる良い滑走が出来ることを楽しみにしています。



2年生 体育科スキー実習

1月30日(木)から2泊3日で、2年生体育科スキー実習を行いました。例年、大山で行っていましたが、雪不足のため今年は琴引スキー場にて実習を行いました。雪が少ないなかの実施でしたが、大きなケガもなく元気に滑ることができ、有意義な実習になりました。



部活動報告

3学期もたくさんの生徒が活躍しています。

剣道部

☆島根県高等学校新人剣道大会

男子団体 **優勝** (全国選抜大会と中国新人大会に出場)
男子個人 **優勝** 森脇 章太 (中国新人大会に出場)
ベスト8 堤 悠介 (中国新人大会に出場)



女子団体 **優勝** (全国選抜大会と中国新人大会に出場)
女子個人 **優勝** 宮前 琴羽 (中国新人大会に出場)
2位 清水 優花 (中国新人大会に出場)
3位 宮本 もえ (中国新人大会に出場)
3位 澁谷 志乃 (中国新人大会に出場)
ベスト8 深津 愛稀 (中国新人大会に出場)

* 剣道部の中国新人大会と合唱部の全国大会は
新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりました。

合唱部

☆松江プラバ室内合唱コンクール

混声チーム 優良賞(全国大会出場)
女声チーム 銀賞(第2位)



吹奏楽部

島根県吹奏楽連盟の創立60周年記念演奏会と表彰式が
2月22日(土)に出雲市民会館で行われ、ここ10年間で各種
大会において優秀な成績をおさめた団体が表彰されました。
大社高校吹奏楽部も、全日本マーチングコンテスト中国大
会に3回以上出場した団体として、吹奏楽部部長の2年生
春日佐織さんが真玉保浩会長より
賞状と盾をいただきました。



今後の予定



3月

24日(火)	終業式・離任式
25日(水)	入学予定者オリエンテーション

4月

8日(水)	始業式・新任式
9日(木)	入学式・入舎式
10日(金)	部活動オリエンテーション
15日(水)	遠足
16日(木)	3年健康診断
22日(水)	生徒総会、3年記述模試(~23日)
23日(木)	2年健康診断

5月

9日(土)	出校日、PTA総会、学年PTA
11日(月)	振替休日(9日)
14日(火)	中間試験(~19日)

❁この他の部活動結果はHPで紹介しています。